

●TOMASクラウドをご利用のお客様につきましては、弊社でバージョンアップを行いますのでダウンロードは不要となります。

●バージョンアップを実行する前に以下をご確認ください。
現在のEX3人事給与システムのバージョンが「3.3.24.10512」以上であること。

●バージョンアップ後は以下のバージョンであることをご確認ください。
EX3人事給与システムのバージョンが「3.3.24.11219」となっていること。

Ver 3.3.24.11201

No.	機能名	内容 (人事給与システム)	対応Ver
1	年末調整計算	<ul style="list-style-type: none"> 年調年税額の計算方法を変更しました。 修正前：年調年税額 = 住宅借入金特別控除後の年調所得税額 × 復興特別所得税率(102.1%) 修正後：年調年税額 = (住宅借入金特別控除後の年調所得税額 - 年調減税額) × 復興特別所得税率(102.1%) 定額減税対象者の同一生計配偶者および、扶養親族数を再計算し、各人別控除事績簿（「年調減税額」タブ）から保存されている人数と相違がある場合、年調減税額を求めなおす処理を追加しました。（人数に相違がある場合、各人別控除事績簿の人数及び年調減税額も更新されます。） 合計所得金額が1,805万円（給与支払額が2,000万円）を超える教職員が定額減税対象になっていた場合、定額減税対象から外し、年調減税額を0円に更新する処理を追加しました。（各人別控除事績簿の年調減税額も更新されます。） 	3.3.24.11201
2	源泉徴収簿	<ul style="list-style-type: none"> 給与及び賞与の各支給毎に、定額減税額を▲表記で出力するように対応しました。 枠外（右下）に年調減税額（(24)-2）及び、年調所得税額から年調減税額を差し引いた額（(24)-3）、控除外額（(24)-4）を出力するように対応しました。 	3.3.24.11201
3	源泉徴収票	<ul style="list-style-type: none"> 摘要欄に「源泉徴収時所得税減税控除済額〇〇円」、「控除外額〇〇円」、「非控除対象配偶者減税有」を出力するように対応しました。 ※非控除対象配偶者が障害者の場合、「減税有」と省略可能ですが、TOMASでは必ず「非控除対象配偶者減税有」と出力されます。 給与支払報告書の提出が1枚で済むことから、印刷対象の条件「税務署+受給者用→市区町村用」を削除しました。 印刷対象に「市区町村提出用のみ」且つ「提出対象者のみ」を選択した際の出力条件を見直しました。 修正前は源泉徴収票の提出者の条件で出力しておりましたが、修正後は給与支払報告書の提出者の条件（年間支払額30万円以下の退職者を除く）で出力するよう修正しました。 	3.3.24.11201
4	<ul style="list-style-type: none"> 給与合計表 賃金台帳 給与明細累計チェックリスト 過不足額一覧表 源泉徴収票提出者一覧表 源泉徴収票チェックリスト 	所得税や源泉徴収税額など、定額減税を反映した金額を出力するように対応しました。	3.3.24.11201
5	所得税住民税基礎データ	<ul style="list-style-type: none"> 「作成ログ」画面のデータをExcel出力できるように対応しました。 自治体指定番号が正しく取得できないケースがある問題を修正しました。 摘要欄に300文字まで出力できるよう対応しました。（e-Tax、eLTAXの仕様変更に伴う改正） 	3.3.24.11201
6	給与支払報告書（総括表）	退職者を全員含めるか、給与等の金額が30万円を超える退職者のみを含めるか、選択できるようにしました。 初期値：「含める（退職者全員）」	3.3.24.11201
7	年末調整データ入力	【教職員所得税】画面で年調計算「しない」になっているケースでも、源泉控除対象配偶者がいる場合、「配偶者所得」欄を入力できるようにしました。（源泉徴収票の「配偶者の合計所得」に金額を出力できるようにするための措置）	3.3.24.11201
8	賃金台帳	賞与の控除項目に共済掛金、雇用保険、所得税、定額減税以外の項目がある場合、「その他控除」欄の金額に定額減税額（賞与で控除した定額減税の2倍の金額）が含まれてしまう問題を修正しました。	3.3.24.11201
9	年調ソフトからの連携	<ul style="list-style-type: none"> 退職所得を有する配偶者の所得の見積額が100万円以上の場合、システムエラーが発生する問題を修正しました。 控除証明書等の画像データを取り込もうとした際、拡張子が大文字の場合、「取込対象がありません」というエラーメッセージが表示され、取り込めない問題を修正しました。 	3.3.24.11201
10	控除申告書照会	<ul style="list-style-type: none"> ①【年調ソフトからの連携】より、データを1件も取り込んでいない状態で、控除申告書照会を使用した場合、システムエラーとなる問題を修正しました。 ②「控除申告書照会(xmlファイルより)」を選択した場合、「条件設定」ボタンの絞り込みが効かない問題を修正しました。 ③扶養控除等申告書の16歳未満の扶養親族欄において、令和生まれの生年月日が誤って平成に○が付く問題を修正しました。 ④基礎控除申告書の「控除額の計算」表の判定のチェック位置が「1,000万円超～1,805万円以下(D)」の場合、「1,850万円超～2,400万円以下」に付いてしまう問題を修正しました。 ※③④は表示上の問題であり、ファイルを再度取り込みなおしていただく必要はありません。 	3.3.24.11201
11	標準報酬基礎届書	最新のレイアウトに対応しました。（令和7年分から最新レイアウトに切り替わります。）	3.3.24.11201
12	教職員通勤費	通勤方法タブに「金額」欄を追加しました。 ※「金額」欄はメモ用であり、給与計算には使用できません。	3.3.24.11201
13	データインポート/ データエクスポート	教職員通勤費の通勤方法をインポート/エクスポートできるように修正しました。	3.3.24.11201

Ver 3.3.24.11205

No.	機能名	内容 (人事給与システム)	対応Ver
1	年末調整計算	年末調整計算を実施してもステータスが「未計算」のまま計算されない問題を修正しました。 <発生条件> 本人が定額減税の対象者、且つ配偶者の死亡年月日に2023年12月31日以前の日付が入っている場合。	3.3.24.11205
2	賃金台帳	合計欄（右下のエリア）の給与と差額の所得税に同額が出力される問題を修正しました。 （「給与の所得税+差額の所得税」が給与、差額それぞれの所得税に出力されていました。） <発生条件> 2024年に差額の支給が存在する場合。	3.3.24.11205
3	各人別控除事績簿	「未確定者最新情報更新」ボタンより、家族情報を反映した際、「同一生計配偶者」及び「扶養親族」の人数が異なる場合がある問題を修正しました。 <発生条件> 教職員番号が数字のみで構成されている場合、且つ一覧に表示されている教職員の教職員ID（システム内で使用している一意な番号）が、一覧に表示されている他の教職員の教職員番号と一致する場合。 （お客様での確認が難しい内容となります。） 年末調整計算実行時に、正しい人数に補正されるため、年末調整計算の結果に影響はありません。	3.3.24.11205

Ver 3.3.24.11209

No.	機能名	内容 (人事給与システム)	対応Ver
1	年末調整計算	年調年税額の金額が100円多く計算される場合がある問題を修正しました。 <発生条件> 本人が定額減税の対象者である、且つ100円未満切り捨て対象の金額の10の位以下の金額が99.5~99.9に該当する場合。	3.3.24.11209

Ver 3.3.24.11219

No.	機能名	内容 (人事給与システム)	対応Ver
1	・源泉徴収票 ・所得税住民税基礎データ	非居住者に該当する配偶者は、定額減税の対象ではないが、源泉徴収票の摘要欄に「非控除対象配偶者減税有」の文言が出力される。（所得税住民税基礎データも同様） <発生条件> 「教職員家族」の配偶者の設定において、以下、全ての条件を満たす場合に発生します。 ・「非居住者」=チェック有り ・「控除対象配偶者」=「対象外」 ・「配偶者特別控除」=チェック無し ・「源泉控除対象配偶者」=チェック無し ・「同一生計配偶者」=チェック有り ・「死亡年月日」=未入力、もしくは2024年1月1日以降の日付が入っている （本人が定額減税の対象でない場合は、上記条件に該当しても「非控除対象配偶者減税有」の文言は出力されません。）	3.3.24.11219
2	源泉徴収簿	・過去の源泉徴収簿を出力した際、右側の「給与・手当等」、「賞与等」の税額欄(3)(6)が出力されない問題を修正しました。 ・プリンターの初期値が「Microsoft Print To PDF」になっている問題を修正しました。 ・右下の枠外の文言が印刷時に切れるケースがあるため、全体的に印字位置を上調整しました。	3.3.24.11219